

# お や が く 親学 アドバイザー 養成講座のご案内

親学推進協会では、基本理念として次の三つを掲げています。

- 一、教育の原点は家庭にあり、親は人生最初の教師であって、教育の第一義的責任を負う
- 二、胎児期、乳児期、幼児期前期、幼児期後期、児童期、思春期という子供の発達段階によって、家庭教育で配慮すべき点が異なる
- 三、父性と母性の役割を明確にする

これらの理念の下に、受講者自身が親としての学びを深めるとともに、子育てに悩む親の支援が出来る「親学アドバイザー」を養成することを目的として、このたび「親学アドバイザー養成講座」を開催することになりました。

「親学アドバイザー養成講座」では、第一線で活躍する講師陣の講義とともに、参加者同士が意見を出し合ったり、悩みを相談しあったりしながら、色々なケースの子育てについてテキストを用いながら学びを深めます。「家庭教育力」の低下が顕著といわれている今日、「親として育ち、親力をつける学習」にぜひご参加ください。

## 講座の概要

**目的：**親学（親としての学び、親になるための学び）の普及を通して、家庭の教育力の向上に寄与する。

**日時：**平成20年12月13日（土）、12月14日（日）、12月23日（火・祝）の3日間

※3日間で8講座実施します。原則として全8講座すべてをご受講下さい。

**場所：**北とぴあ（王子駅北口前の17階建てビル）  
東京都北区王子1-11-1  
JR京浜東北線 王子駅北口徒歩2分  
地下鉄南北線 王子駅5番出口直結

**対象者：**乳幼児から青少年の保護者・教育に携わる  
仕事をされている方など「親学」に関心  
のある方。

**定員：**40名（定員に達し次第締切らせて頂きます）

**受講料：**16,800円（別途、テキスト代金3,360円）

**内容：**家庭教育や子どもとの接し方に関する7つのテーマを  
設け、各テーマごとに講義・グループ別話し合いなど  
を通して講座を展開する。

**使用テキスト：**『「親学」の教科書-親が育つ子どもが育つ-』  
（PHP親学研究会編）  
『親学アドバイザーの手引き』  
（PHP親学研究会編）

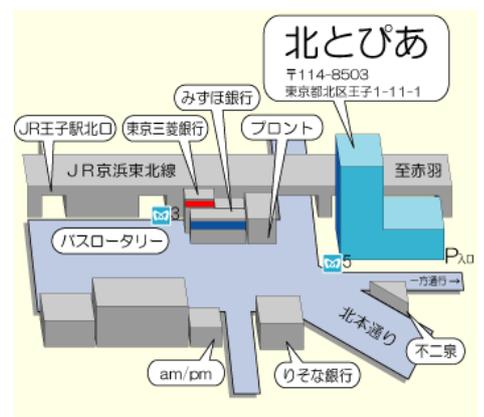
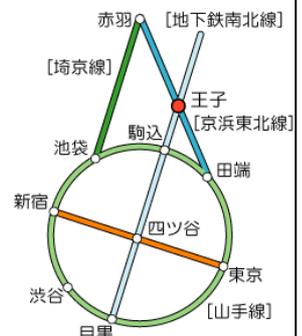
### 鉄道でのアクセス

王子駅までの所要時間

東京駅から約25分  
（京浜東北線）

新宿駅から約40分  
（山手線田端で京浜東北線に乗換え）

目黒駅から約35分  
（地下鉄南北線）



親学推進協会

事務局

〒101-0061 東京都千代田区三崎町3-1-11 瀬川ビル7階

TEL : 03-6821-5601 FAX : 03-3234-0889

E-Mail : info@oyagaku.org

HP: http://oyagaku.org/

# 講座カリキュラム

12月13日(土) 10:30~16:15	第1講座	『親学の基本』(1.5h)	◇親学の意義や目的、親心の大切さなどについて学びます。
	第2講座	『親として大切なこと』(1.5h)	◇親とは何か、親に求められるもの、父性・母性とは何かについて学びます。
	第3講座	『子どもの脳の発達と親の関わり方』(1.5h)	◇子どもの脳の発達段階に応じた生育環境や生活習慣、しつけなどの関わり方について学びます。
12月14日(日) 10:30~16:15	第4講座	『親が変わる意義とポイント』(1.5h)	◇親として身に付けておきたい人間力や自己成長のためのポイントについて学び合います。
	第5講座	『子どもの心を受け止める』(1.5h)	◇子どもの心を育む話の聴き方、受け止め方、応答の仕方について学びます。
	第6講座	『親の心を伝える』(1.5h)	◇子どもの心に届く話し方について学びます。
12月23日(祝) 13:15~16:30	第7講座 第8講座	『親学アドバイザーの役割と働き』(3.0h)	◇親学アドバイザーの役割と親学勉強会を運営するための考え方、技術を学びます。

## 受講申込方法

受講ご希望の方は、電話・FAX・E-mail等にて親学推進協会事務局までお申し込みください。

■ 申込〆切：12月8日（月）  
（ただし定員に達し次第締切らせて頂きます）

### ■ 振り込み用紙、受講証の送付

お申込みをいただいた方には後日、受講料の振り込み用紙を送付いたします。お振り込み確認後、受講証（ハガキ）を送付いたします。

〔申込み用紙〕（切り取らずにお送り下さい。）

F a x : 0 3 - 3 2 3 4 - 0 8 8 9

フリガナ			<備考欄>
ご氏名			
性別		年齢	
ご職業			
ご住所	〒 _____		
TEL			
テキスト	『親学の教科書』 持っている・持っていない      『親学アドバイザーの手引き』 持っている・持っていない		
講座をどちらで（何で）お知りになりましたか？ [ _____ ]			